

地教連ニュース

20001109
エルムアカデミー
〒142-0053 品川区中延 5-6-14-2 f
03-3784-5676 Fax03-3784-5609

46回子どもを守る文化会議(山形県鶴岡集会)に参加して

集会の事務局になっている鶴岡生協(鶴岡協同の家こぴあ)に行ったが、東京の郊外にある大型スーパー店の様に巨大な店舗と駐車場ではあったが、2階には、図書室とリラックスできるスペースと300名収容できる多目的ホールが完備されており「生協を子育ての拠点」にふさわしい設備であった(生協の会員は市民の約7割)。九月九日の全体集会では井上ひさし氏の講演もあってか、一般の市での集会として初めて1000名を突破しました。(今までの集会会場は都府県の県庁所在地)

九月十日の分科会「協同の街づくりと子育て」では子どもも大人も主権者として生きる街をどう実現するのかを農村・都市からの活題提供を通して話し合われました。その中で子どもを守る運動が、地域に深く根づくことが求められることがまとめられたこれからの課題でもあるようでした。

なお、地教連参加の「神奈川学習コープ」「NPO中野子ども空間」「NPO三鷹文化学習センター」からのレポートも提供されました。

珊瑚(NPO中野子ども空間)

地教連研究交流集会について

10月15日に行われた2000年地教連研究交流集会は全体で40名の方が参加されました。例年の時期より幾分開催が早かったことで、各塾の行事と重なり、昨年に比べると参加人数が減りました。しかし、午前中の講師、児美川孝一郎さん(法政大学)の話は参加者に大変好評で「今の文部省の改革の思想が見えてきた」「日本型チャータースクールにあまり可能性はないことがわかった」「もっと多くの人に聞いて欲しい講演だった」との声が出ていました。こちらの手違いで昼食休憩に20分ほど早く入ってしまい、せっかくの質問時間が不十分だったことを改めてお詫び申し上げます。

午後からの分科会は二つに別れて行いました。第一分科会は「ほんとに実現可能なかの教育NPO!？」と題して注目されている教育NPOを様々な角度から徹底討論し、その可能性を探っていきました。司会は珊瑚(ジャンプ教室)さんが担当し、桐島(法政大非常勤講師)君が「そもそもNPOとは何か」を報告した後に、NPOを立ち上げて現在活動している「三鷹文化学習センター」と「中野子ども空間」の報告を受けて論議をしました。論点は塾としてNPOが認可される可能性があるのか、NPOで公的な存在として地域に新たなつながりをつくりえるのではないかと、今後の展開として各NPOごとでは事務作業などの限界があり、やりきれなくなるので教育NPOの全国セクターが必要である。そして、その第一歩としてシンクタンクを一刻も早く有志が確立する必要があるということで話がまとまりました。

第二分科会は「塾で総合学習をどうすすめるのか?」ということで2002年から始ま

る総合学習を塾としてどうするのかを議論しました。学校との兼ね合いや地域に開いた総合の取り組みなどの当面の実践や数年先を視野に入れた論議をしていきました。

司会は橘さん(あらぐさ)が務め、田辺さん(多摩学習教室、中央大学文学部大学院生)が「総合学習の今の動向」ということで文部省の動きや各地の実践などを報告しました。その後、鎌倉「風の学園」の柳下さんが平和をテーマに沖縄・アウシュビッツ・ベトナムと世界にフィールドを広げる総合授業の実践を報告しました。後半の論議ではその実践報告に質問が集中し、多くの時間が割られました。特に自分たちの塾の実践にどのように引きつけて考えればよいのか、評価をどのように考えていけばよいのか、父母の支援はどのように行われているのか、などが話し合われました。風の学園が一般の塾とは形態に違いがあるにせよ、総合学習の中で何を学ばせていくかという本質に立ち戻って考えることが何よりも大事であることが確認されました。

新年会までには報告集を制作します。

全体会の児美川さんの講演は後半部分の塾に関する部分を文章に起こす予定です。前半部分は児美川さんの著書「新自由主義と教育改革」をお読み下さい。

分科会報告は第一分科会は坂口さん(エルム)、第二分科会は川上さん(びりか)がまとめる予定です。

常任委員会から 新年交流会のお知らせ

日時：2001年2月4日(日)

場所：関西・大阪方面で(のびのび学習教室の森岡さんと検討中)

9月に岐阜で東西交流会を開催し、地教連にはまだ参加していない多くの仲間が集まってくれました。全国的にも仲間の参加を呼びかけていくとともに、関西方面在住で東京まではなかなか参加しづらい会員のためにも少しでも参加しやすくしていこうということで関西の地域での新年交流会の企画を進めています。なお、東京方面からは車を仕立てて参加する予定です。

経費節減、御協力をお願い

方針通り、通信をEメールで送付したいと思いますので、アドレスをお待ちの方は、Yzwhiro@aol.comまで「地教連メール」と入れて下さい。各塾のホームページ、メールアドレスはまだ集約が不十分なので次回ご紹介しますので、上記メールまでご連絡を。

会費納入のお願い

2000年度の会費をお納め下さい。なお、請求書を順次に発行予定です。

振込先；郵便局の総合口座 記号10030 口座番号64626421 地域教育連絡協議会

なお、郵便局の総合口座をお持ちの方はお近くの自動振り込み機械から130円で振り込めます。

請求会費の納入のない方は、ニュース等の配付を停止させていただくこともあります。あしからず、ご了承下さい。

地 教 連 情 報

20001109

あらぐさ教室より

あらぐさ創立20周年記念レセプション

11月11日(土)午後6時から

川崎市立総合自治会館(武蔵小杉駅下車)

NPO中野こども空間 より

NPO「中野子ども空間」設立総会とセレモニー

11月18日(土) 午後1時半から午後5時

中野ウィズ (中野区野方)

& Fax 5373-8246

珊瑚さんの活動しているNPOで、中野区より児童館や青年館の委託業務、まちづくり、子ども会活動を進めている団体です。

2000年地域民主教育全国交流研究集会のご案内

集会テーマ

子どもに希望を、教室に自由を、教室・学校・地域から共同の輪を

全体会 11/24午後5時30分から9時20分

記念講演「私の歩んできた道」小倉寛太郎氏 「沈まぬ太陽」主人公モデル

特別企画 11/24午後1時半から3時半

公開授業 岩辺泰史氏(葛飾区立飯塚小学校) 今泉博氏(清瀬市立清瀬第五小学校)

各小学校にて

分科会 11/25

子ども 「子どもの事件を通して人間発達の危機的状況を探る」

学習・授業 「総合学習のとりくみ」

学校「子どもと父母・住民とともにすすめる学校づくりの課題」

家庭・地域・運動「地域・学校の共同の運動をどう進めるか」

教師「いま教師が問われていることは何か」

クラス崩壊・荒れる学校「学級崩壊と少年事件の深層」

特設 子育てを語り合う集い

連絡先 090-8041-3014

あらぐさ教室より

伊豆大島の別荘ご利用のご案内

素泊まり1泊2000円(おとな) 宿泊用品、什器すべて完備

港・海近し、温泉もあります。観光、つり、リフレッシュに最適です。

10人程度まではOK。

お問い合わせは橘美枝子(044-287-7313)まで

「いま『協同』を拓く」全国集会2000の御案内

11/25(土)全体会

記念講演 ジェイムス・ロバートソンさん(イギリス)

「未来の仕事」「21世紀経済システム展望」

11/26(日)分科会

第5分科会 青年たちの仕事おこしーコミュニティにかかわってー

参加費:3000円 地教連事務局で券を扱っています。

会場:東京学芸大学(JR中央線武蔵小金井駅下車)

第16回子育て文化協同全国交流研究集会 高知・四万十集会へ

子ども・青年・大人の協同と参加による地域づくり・学校づくり!!

(四万十からの呼びかけ)

「日本最後の清流」四万十川が、豊かな森や里づくりと人づくりが結びついた「日本最初の清流」四万十川になることができるかどうか今、注目されています。

地域と教育が深く結びついた歴史をもつ高知で、高校生ゼミナールがとりくんだ

「ピキニの海を忘れない」や、映画にもなった「渡り川」の若者たち交流し、そして今、「私たちの教育革命」として注目され、問われている「土佐の教育革命」の成果や課題に学びながら、地域の子育て、教育や文化の協同、そして、地域づくりのネットワークの新しい発展を求める県内外の人々とこの美しい四万十であらたな出会いと学習、交流が初まることを願っています。

県内外から多くのおみなさんご参加をお待ちしています。

日程 2000年11月25日(土)2:00開会~

11月26日(日)1:00閉会

会場 西土佐ふれあいホール(初日全体会・分科会)

四万十楽舎(2日目 分科会)

主催 子育て文化協同全国交流研究集会

四万十集会実行委員会

問い合わせ 野々垣務(全国事務局) TEL/FAX 048(833)7342

参加費 2000円(現地1000円) 宿泊費 7000円

宿泊 四万十楽舎(0880-54-1230)

〒787-1323

高知県幡多郡西土佐村中半 408-1

http://www.netwave.or.jp/gakusya/

ヘルスセンター（0880-52-1362）

第16回子育て文化協同全国交流研究集会・2000四万十集会プログラム

全体会

歓迎行事 五つ鹿踊り（西土佐村の子どもたち） 手作り楽器演奏（中村子ども劇場）

シンポジウム 高知の子育て・教育運動に学ぶ

「渡り川」に取り組んだ若者たち・・・幡多高校生ゼミナールのOB

土佐の教育革命と四万十楽舎のとりくみ・・・下山正寿（四万十楽舎）

高知の子育て・文化運動から・・・

コーディネーター 野村幸司（高知工業高校教諭）

分科会

分科会名	主な課題・レポート
1, 都市と農村の交流	産直の取り組み 農業体験 学校給食 子どものからだと食
2, 地域づくりと学校づくり ・父母参加	少子化・過疎化と学校統廃合 学級崩壊 土佐の教育革命 学校づくりと父母参加学校協議 会
3, 不登校・子育て支援	親の会 ネットワーク 居場所づくり
4, 子どもの生活と文化 放課後の子どもたち	ぞう列車 子ども劇場とNPO 学童図書館・地 域文庫 子どもの権利条約
5, 若者の進路 新しい生き方・働き方	中高校生の進路選択 就職困難・リストラ フリーター問題 地域づくりと若者支援
6, 四万十の食づくり	芋なべ、鹿肉料理づくりなど
7, 四万十の自然を探る	四万十の水生昆虫 カヌー・川船遊び
8, 木工を楽しむ	自然木・間伐材で木工づくり

カンパネラ編集部より

第5号が10月1日に発刊。今回の特集テーマは「親たちの世代の生き方」。リストラの中、様々に働く20代青年の親たちの世代を描きます。また、各地からのレポートも盛りだくさんです。お楽しみに

1号から4号までのバックナンバーもあります、ご連絡お待ちしております。

編集委員も募集中です。

*年間購読の方は引き続きご継続をお願いいたします。

0422-47-8706